

農学委員会 応用昆虫学分科会（第21期・第2回）議事要旨

日 時：平成21年3月4日（水）15：00～17：00

場 所：日本学術会議5階 5-C（2）会議室

出席者：上野民夫、木口憲爾、後藤千枝、嶋田 透、竹田 敏、田付貞洋、鎮西康雄、
長澤寛道、沼田英治、藤崎憲治；（事務局：小川事務官）

欠席者：磯貝 彰、小林迪弘、中筋房夫、中島裕美子（海外出張中）、山下興亜（50音順）

議 題：

- （1） 前回分科会の議事要旨の承認について
- （2） 第1回昆虫科学連合（仮）準備委員会の報告と分科会としての今後の対応
- （3） 分科会としての当面の活動目標
- （4） その他

配布資料：

資料1 農学委員会 応用昆虫学分科会（第21期・第1回）議事要旨（案）

資料2 昆虫科学関連学協会の連合に関する準備委員会（第1回）資料

議 事：

- （1） 前回分科会の議事要旨の承認について
議事要旨（案）に関する意見等の有無の確認ののち、提案の通り承認された。
- （2） 第1回昆虫科学連合（仮）準備委員会の報告と分科会としての今後の対応
準備委員会に出席した藤崎委員長、嶋田副委員長、沼田幹事、後藤幹事から概要報告があった。準備委員会は、今後1年程度で「連合」が正式に設立できるようスケジュールを組み、規約や活動内容等の具体的な検討と原案作り等の準備作業を進める。また、連合の正式発足以前に国際昆虫学会議等を通じた協力要請があった場合は、準備委員会と国際昆虫学会議カウンスルメンバーである沼田連携会員が協力して対応する。分科会は準備委員会にオブザーバーとして参加し、「連合」の設立を支援することになった。
- （3） 分科会としての当面の活動目標
昆虫科学の発展を考える上で、第20期で応用昆虫学分科会が設立された意義は大きい。第20期の分科会が掲げた「連合の発足」と「社会での認知度向上」については第21期でも引き続き取り組んで行くことを確認した。第21期ではさらに「基盤研究の維持」ならびに「若手研究者の育成とポストの確保」等について議論を深め、提言にまとめることを目標に活動することとした。
- （4） その他
次回の分科会は、5月の連休明けをめどに日程調整の上開催することとした。